

平成 29 年度
おみやげ農畜産物検疫受検円滑化支援事業
報告書

平成 29 年 3 月
ジャパンホートビジネス株式会社

目次

1. 事業の概要.	1
2. 検疫受検円滑化事業の取組.	2
(1) 事業の実施体制.	2
(2) モデルフロー図.	3
(3) 空港内の盆栽ショップにおける取り組み.	4
(4) 盆栽ツアーにおける取り組み.	13
3. まとめ.	16

1. 事業の概要

昨今訪日する外国人旅行者の中には、日本の盆栽に対する愛好家が多く、この中には帰国の際盆栽を購入し、手土産として持ち帰りたいという要望がある。

今回 EU 諸国向けを中心に手土産盆栽の植物検疫手続き円滑化の仕組みを構築し、具体的な盆栽購入持ち帰りシステムを構築するため、下記の内容を実施する。

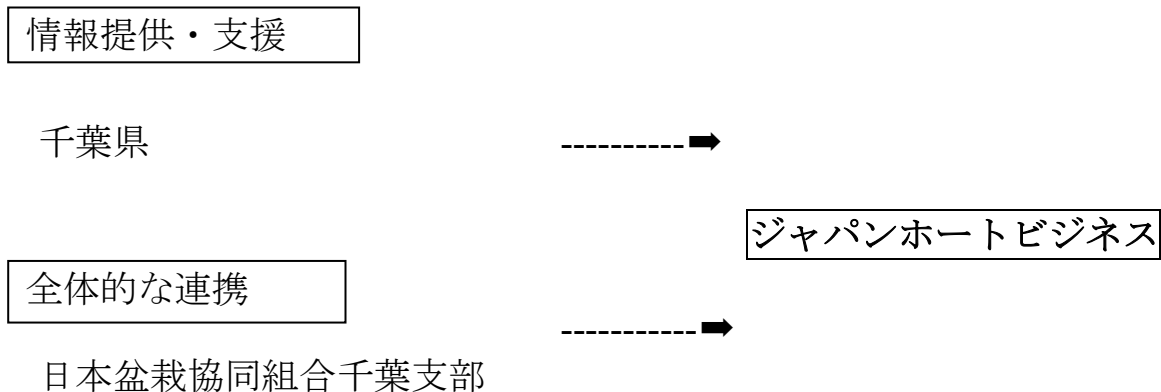
- (1) 盆栽園、圃場等で EU 諸国の植物検疫要求事項に係る栽培地検査等を行った盆栽を対象に、成田空港内出国前の店舗エリア或は成田空港周辺に盆栽ショップを設置し、販売する。
また、近隣の盆栽園で同様、観光客を集客し販売する。
訪日外国人旅行者が購入した盆栽は輸出植物検疫カウンターで輸出検査が行われ、検査の結果相手国の要求事項に合致していた場合、梱包後植物検疫証明書と共に引き渡される。
- (2) 訪日外国人旅行者に日本の盆栽に対する関心度、購買意欲、問題点などについてのアンケート調査等を行い、傾向や問題点等を把握する。
- (3) モミジ等について、検疫条件を維持するための網室、棚等の設備を販売エリアに設置する。
- (4) 販促用パンフレットの作成。
- (5) 輸出相手国での輸入検疫のためのテスト輸送の実施。

2. 検疫受検円滑化事業の取組

(1) 事業の実施体制

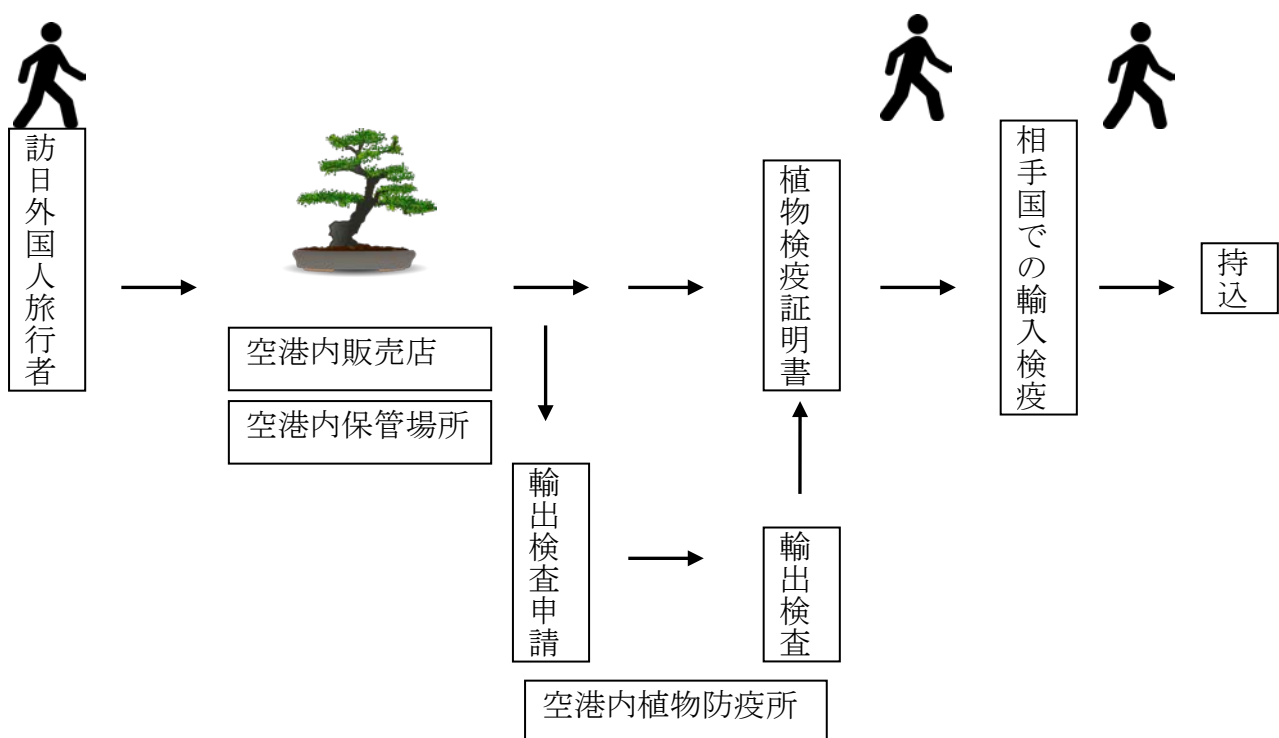
本盆栽協同組合千葉支部は、栽培地検査のための網室、棚の設置で連携。盆栽の管理・供給も担当する。

当社圃場が千葉県内にあることから、千葉県に、盆栽ショップの設置にあたり県内数カ所の紹介や成田空港内の設置について斡旋をしてもらう。最終的に植物防疫所とのアクセスを考慮し、成田空港内に設置することを決めた。



(2) モデルフロー図

- ・ 輸出検査申請→検査受検→証明書発行手続きの円滑化
- ・ 成田空港内に訪日外国人旅行者向け販売店を開設し販売→梱包→輸出検査申請の代行→輸出検査→手土産の引渡



(3) 空港内の盆栽ショップにおける取り組み

〈計画〉 8月25日から11月30日まで、成田空港第二ターミナル内に盆栽ショップをオープン訪日外国人旅行者向けに黒松、真柏、モミジ、カエデ、長寿梅などの人気品種を価格 2,000 円から販売する。対象国は、EU28 国、トルコ、台湾、タイ、シンガポール、韓国となっている。

○盆栽ショップ外観



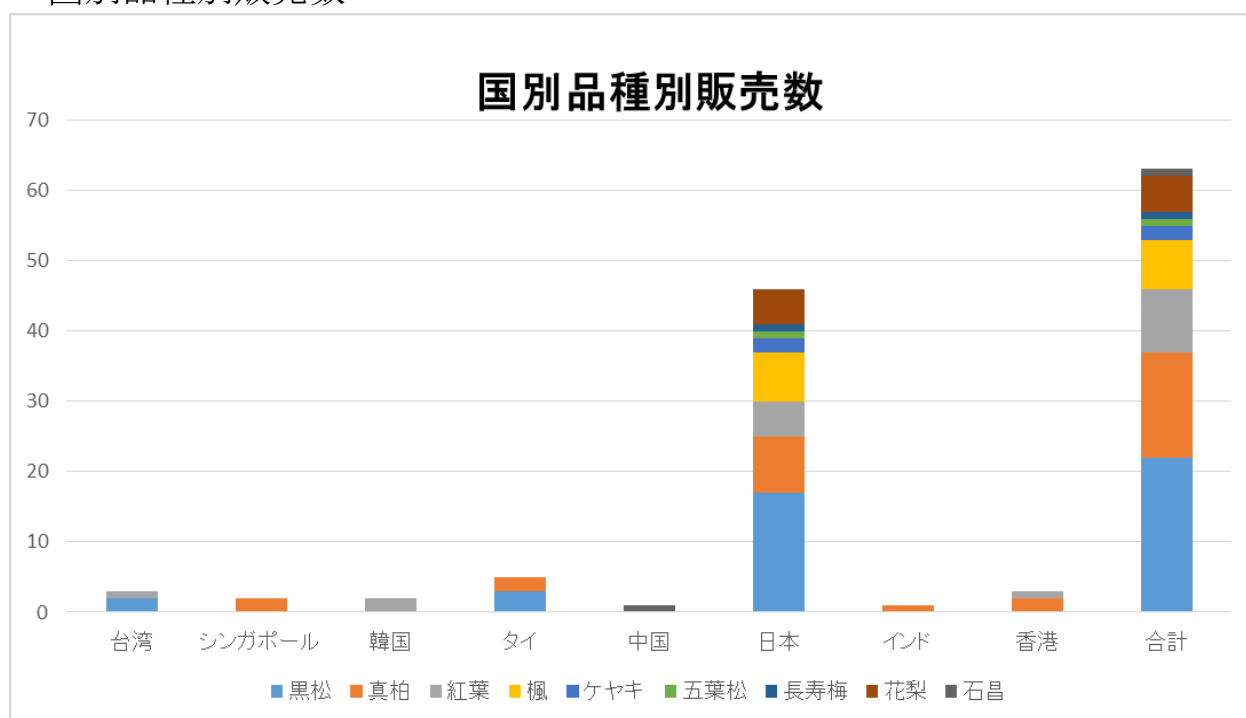
○盆栽ショップ外観



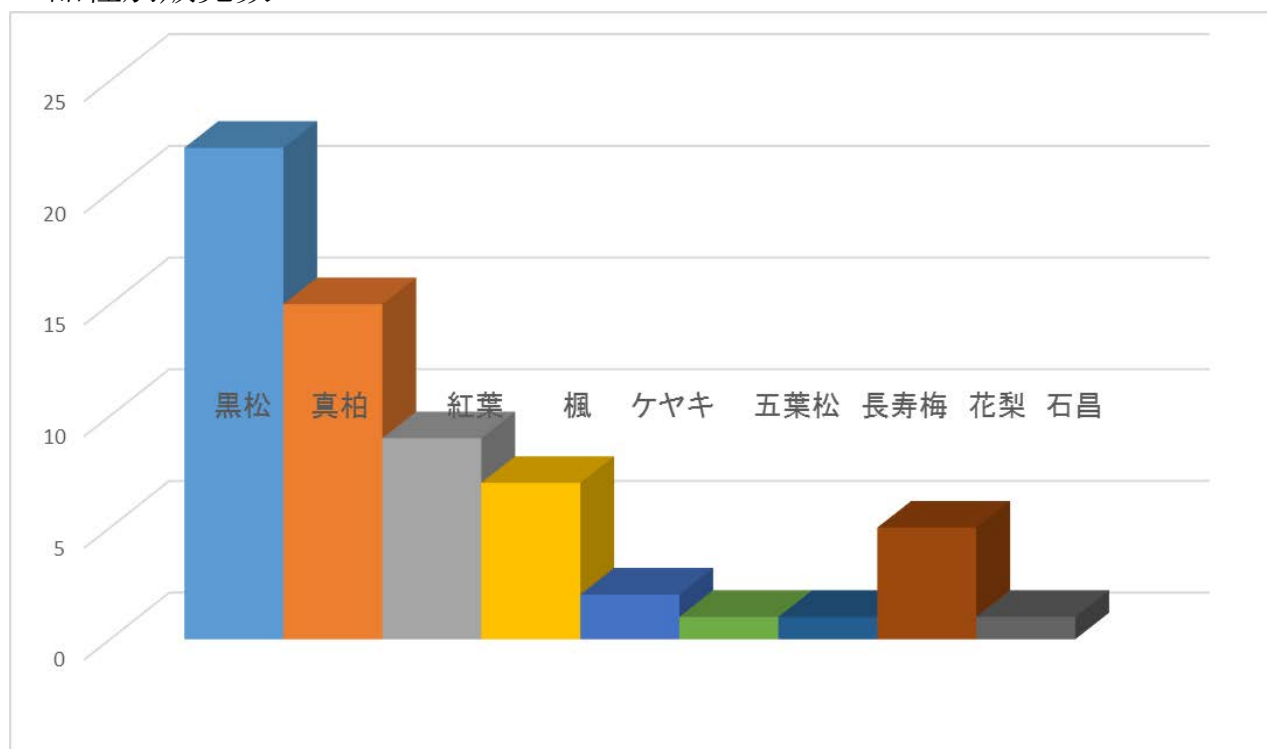
〈結果〉

- (1) 成田空港の盆栽ショップは、アジア・中東・オセアニア・欧米等からの訪日外国人旅行者の注目を浴び、多くの人が立ち止まり観賞した。輸出検疫では、アジア向けの植物検疫条件をクリアにした盆栽を陳列し販売、観光客の購入と同時にスムーズな検疫手続きが行われ、手荷物として約 30 分で引き渡すことができた。
- (2) EU 諸国の植物検疫条件により、モミジ、カエデ、ケヤキ等落葉樹は、葉のない状態で休眠期間中に輸出することとなっており、11 月から販売を開始したが、来日観光客のシーズンの後であったため、観光客が少なく、購入に至らなかった。
- (3) EU 諸国向けのテスト輸送を手土産盆栽として実施。
羽田空港にて輸出検疫検査を行い約 30 分で植物検疫証明書を入手。EU 諸国の中で過去に輸出実績のないラトビア共和国を選択し、モミジとカエデの盆栽を持ち出した。
リガ空港に到着後、輸入検疫手続きがスムーズに行われ、問題なく持ち込むことができた。
- (4) 輸送中の盆栽への損傷を防ぐため、合理的かつ簡易で丈夫な手土産用ダンボール梱包の方法を確立した。
ダンボールがもし逆さまになっても、鉢が落ちない工夫がなされ、枝もぶつかって折れるような心配はないよう施した。また、鉢の水がこぼれ出ないような工夫もある。
盆栽が傷つく等、購入前に機内持ち込み方法を心配する観光客がいたが、梱包サンプルで説明すると安心して購入された。
- (5) 販売促進のための有効な宣伝方法の開発・パンフレットを作成した。

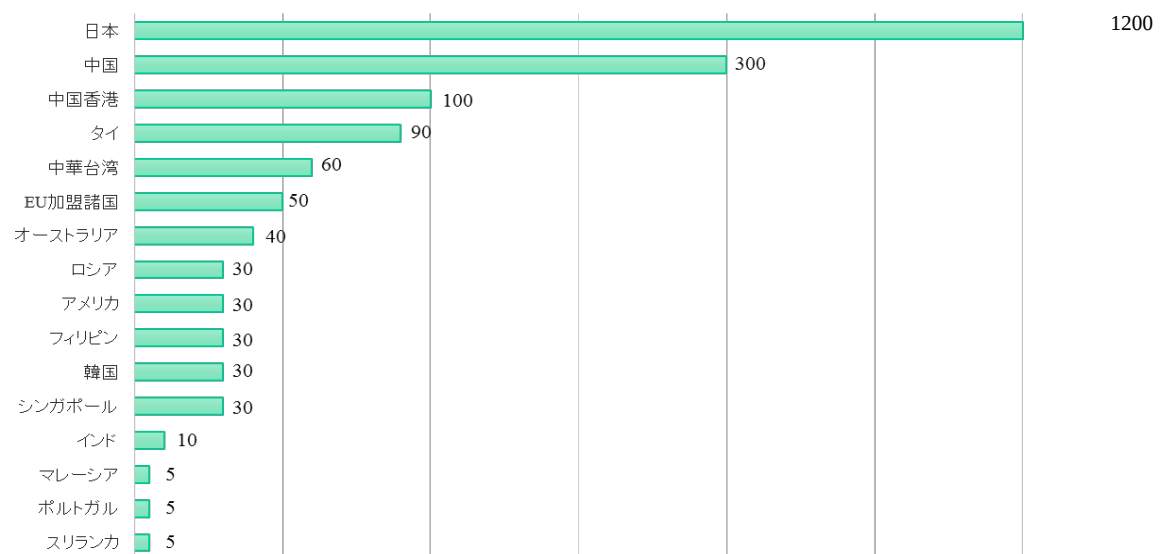
国別品種別販売数



品種別販売数



国・地域別来店人数

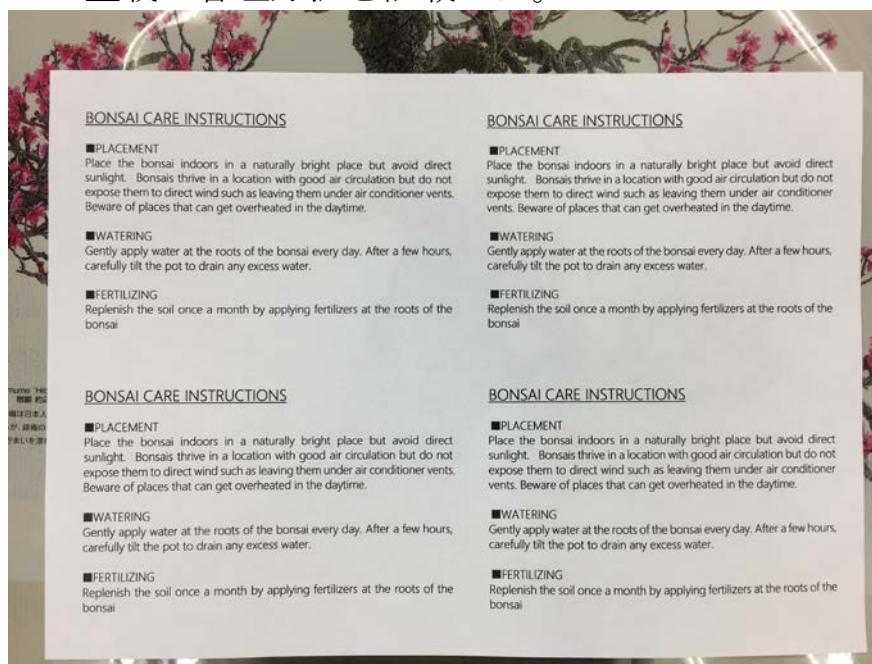


○梱包外観



○管理方法説明書

盆栽の管理方法を記載した。

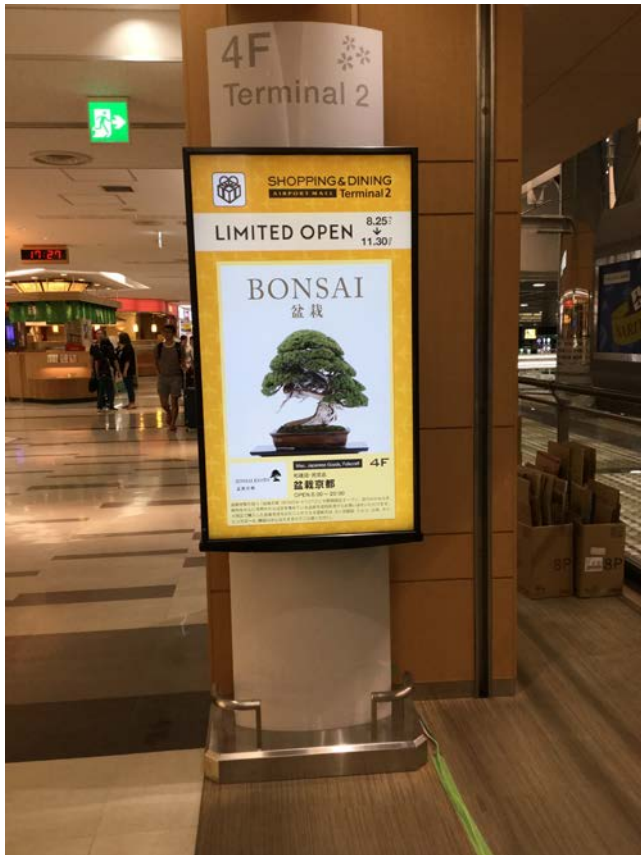


○販促パンフレット

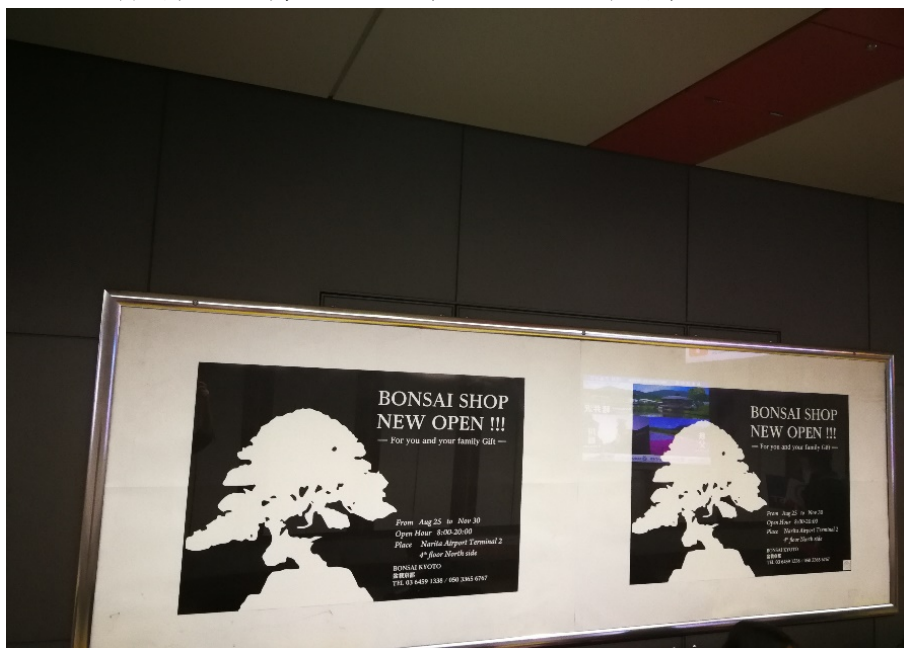
5,000 部発行



○空港内の宣伝掲示



○京成線空港第二ビル駅構内の宣伝掲示



■盆栽ショップでの盆栽輸出検疫受検の販売試行は、8月25日から11月30日までの期間に取組みを行い終了した。

■アジア地域では台湾・シンガポール・タイ・韓国を対象国としたが、輸出検疫については、輸入許可書等も必要とせず、検疫条件が比較的軽いいため非常にスムーズに輸出検疫受検手続きを進行することができた。

■EU諸国については、8月から10月にかけて多くの観光客が盆栽ショップに訪れ、興味深く観賞する姿が見受けられた。一方、盆栽として人気の高いモミジ、長寿梅、ケヤキ等の落葉樹については、葉のない状態で休眠期間中に輸出すること等のEU諸国の植物検疫規則に従う必要がある。本規則に従った盆栽（モミジ、長寿梅、ケヤキ）を陳列し、いつでも輸出できる準備を整えることができた11月には、EU諸国の観光客が減り購入されることがなかったため、検疫受検の実績を作ることが出来なかった。

■盆栽に対する嗜好で印象的だった国は、タイとシンガポールで愛好者が多いことがわかった。

一方で、日本人の20代から30代の女性が盆栽に対して高い関心を持っていることも知り得た。（全体の約50%）

■品種別では、黒松、真柏、モミジ、カエデの順に人気があった。

■ヒアリング調査結果

盆栽ショップを訪れた訪日外国人旅行者に日本の盆栽に対する質問をし

た結果概要は以下のとおり。

- ・台湾、香港：今まで考えていた価格帯よりも安いので購入しやすい。
過去に本国で見た盆栽とは比べられないほど、品質が良い。
- ・ポーランド、ロシア：盆栽に非常に興味がある。
- ・アメリカ、オーストラリア：盆栽を欲しいが、検疫が厳しいので残念である。
- ・タイ：こんなに美しい盆栽を見ることは初めてである。
- ・シンガポール：家族のために購入したい。
- ・UAE、フィリピン：盆栽が好き。今度輸入許可書を持参して購入したい。

■テスト輸送

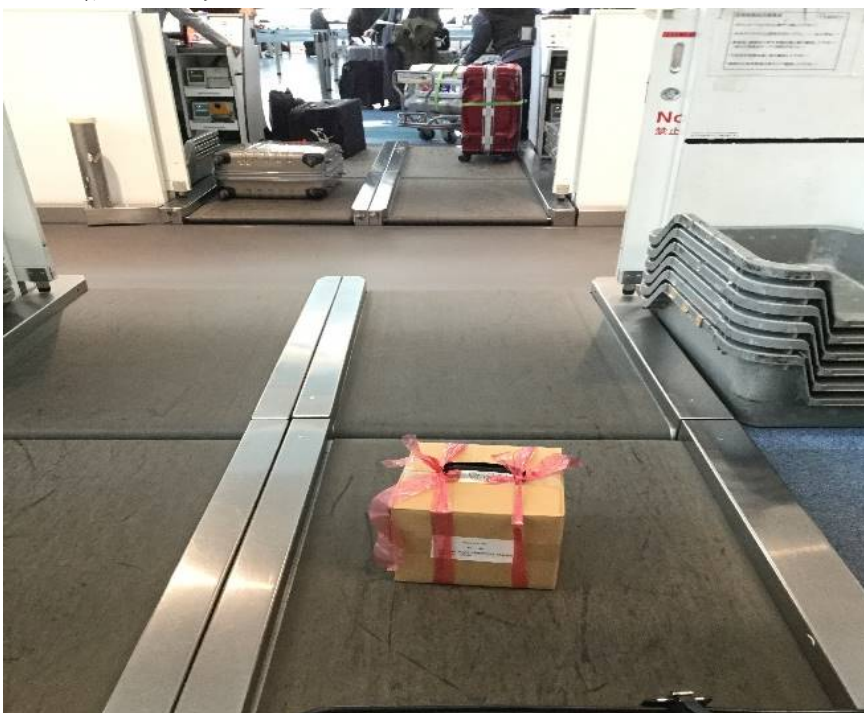
2018年2月、ラトビア共和国にモミジとケヤキを手荷物で持ち込んだ。EU諸国の中で、盆栽を輸出した実績がなく、旧ソ連という国であるラトビア共和国で、果たしてEUの検疫条件をもってスムーズな輸入手続きができるかどうかという観点からラトビア共和国を選択した。

植物防疫所にて、お土産盆栽としての輸出検疫手続きを行った。植物検疫証明書発行まで約30分という短時間でスムーズな手続きが行われた。リガ空港に到着し、税関職員に植物検疫証明書と盆栽を手渡し、日本国のパスポートと植物検疫証明書の記載事項を確認された。

植物検疫証明書に問題がないことを確認すると、続いて盆栽を目視し異常がないかを確認された。

植物に異常がないことが確認されると輸入検疫合格となり、特に書類の申請はなく税関通過となった。

○梱包外観



○盆栽



○リガ空港における輸入検疫の様子



(4) 盆栽ツアーにおける取り組み

〈計画〉

盆栽ツアーで訪日外国人旅行者が盆栽園を訪れた時、幹回り 1 cm以上の紅葉、楓を網室の中で栽培する必要があるため設置。EU 諸国向けに輸出する場合、網室で2年間の栽培地検査が必要となるため、千葉県東金市内に網室・棚の設置を行う。

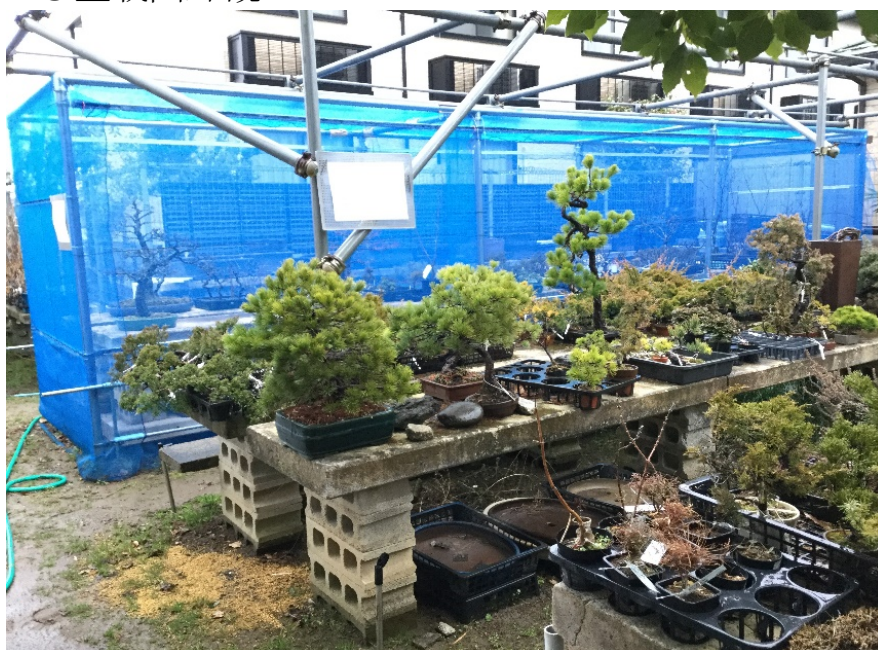
〈結果〉

盆栽ツアーの計画のため、幹回り 1 cm以上のモミジ、カエデの隔離検疫に必要な網室・棚の設置を行った。

盆栽ツアーは、訪日外国人旅行者が来日後に募ったため、スケジュールの調整が難しく、実現にはならなかった。

来日前の訪日外国人旅行者を対象とした計画・スケジュール調整ができれば、盆栽ツアーのスケジュールをたてることはできそうである。

○盆栽園外観



○網室外観



■盆栽ツアーの企画書



盆栽ツアーの流れ

- ・ 来日観光客へ盆栽ツアーのオプションを紹介
- ・ 参加人数 5名から
- ・ ワゴン車、バスをチャーターし盆栽園を訪問
- ・ 盆栽園所在地 千葉県東金市
成田空港から車で30分
- ・ 希望によっては大宮盆栽村にも変更可能
- ・ 盆栽園で観覧
黒松・真柏・五葉松・紅葉・カリン・楓・ケヤキ etc.



- ・ 盆栽を購入したい場合
帰国地により購入できる品種が違うが、その条件に合う盆栽は、購入可能
- ・ 代金の支払い
- ・ 当社で輸出検疫の手続きに入る
輸出検査申請書のあて名欄に氏名住所を記入
- ・ PHYTOSANITARY CERTIFICATEの発行取得
- ・ 後日空港にて、盆栽と証明書
(PHYTOSANITARYCERTIFICATE)を手渡す

費用について

- ・ 入園料 無料
- ・ ワゴン車、バスのチャーター費用は、当社負担
- ・ 盆栽園にて銘茶サービス
- ・ 無料で盆栽の扱い方をレクチャー



3. まとめ

本事業を取り組んだことで、成田空港の盆栽ショップでは、EU 諸国をはじめ、多くの国の人々が日本の盆栽に興味があることが確認できた。しかし実際に購入し育てるということになると、初心者には特に栽培方法や扱い方法の経験がないため、不安に感じていることがわかった。そのような部分を丁寧に説明し、アドバイスすることによって、不安を取り除き、購入意欲を向上させることが重要と考える。

植物検疫受検の円滑化については、植物検疫条件を満たした盆栽を事前に用意し空港内の植物防疫所を利用すること等により輸出検査の手順を迅速に行い、盆栽の梱包方法を確立し、航空会社との合意を順守することにより、お土産盆栽として完成されることがわかった。

今回の事業で得られた知見やノウハウ等については、今後活かしていきたい。

ジャパンホートビジネス株式会社

〒106-0044

東京都港区東麻布 1-25-3 第2 富田ビル 6F

TEL 03-6459-1338 FAX 03-6459-1339

<http://japanhort.com>